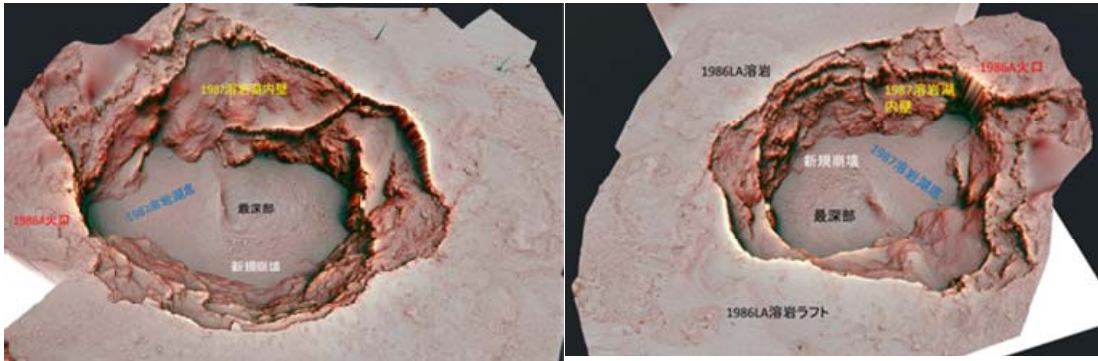
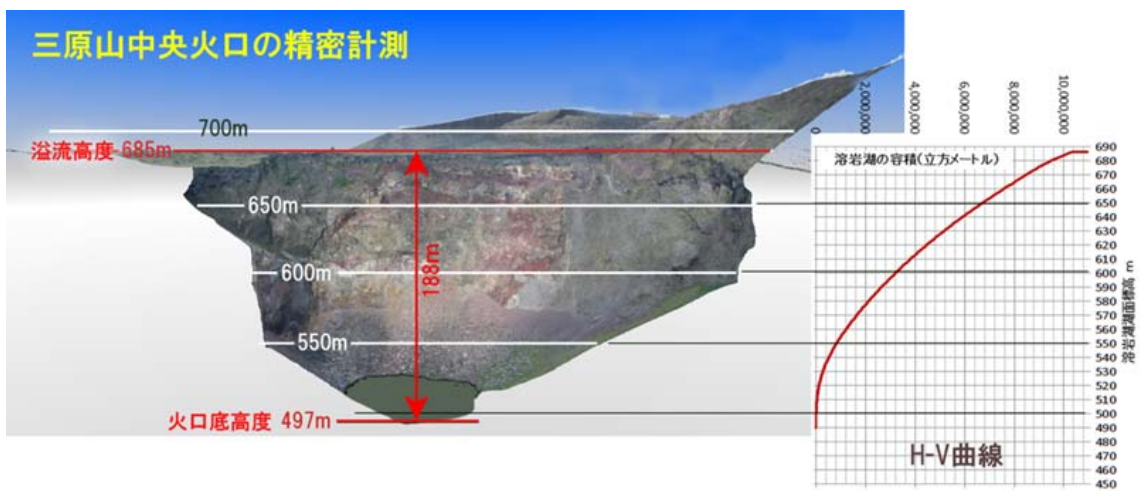


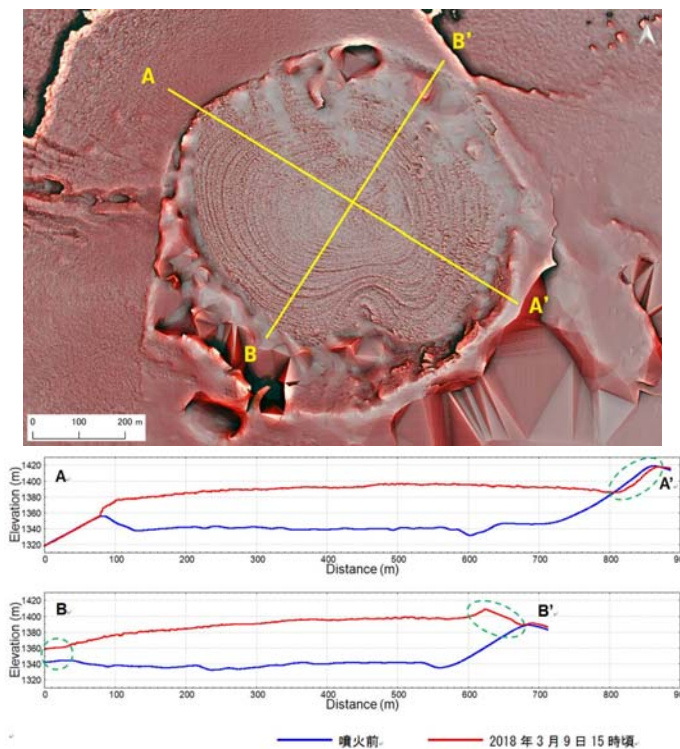
課題 D サブテーマ 1 : 無人機 (ドローン等) による火山災害のリアルタイム把握手法の開発



ドローン画像から作成した三原山中央火口の 3Dモデル

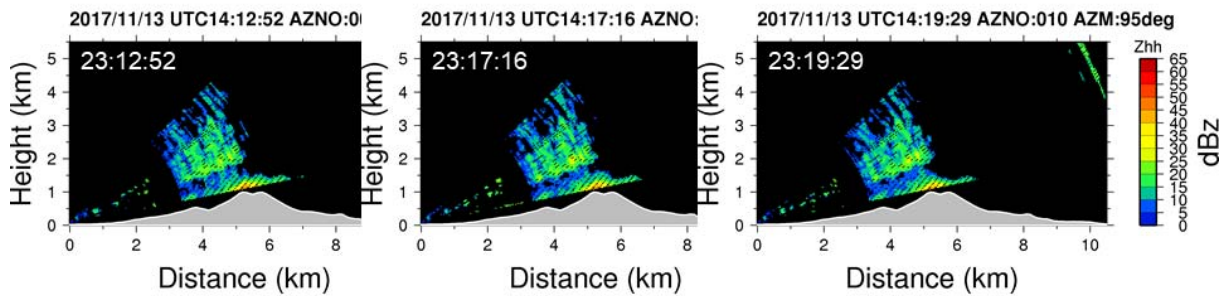


精密地形モデルから推定した三原山中央火口の容積

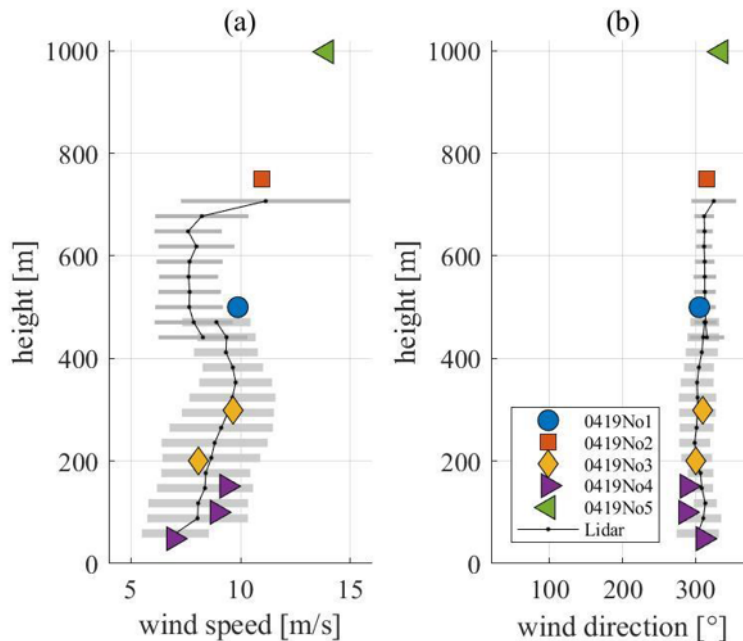


噴火後の新燃岳火口の断面図(緑点線の範囲は噴気の影響が大きく精度が低い部分)

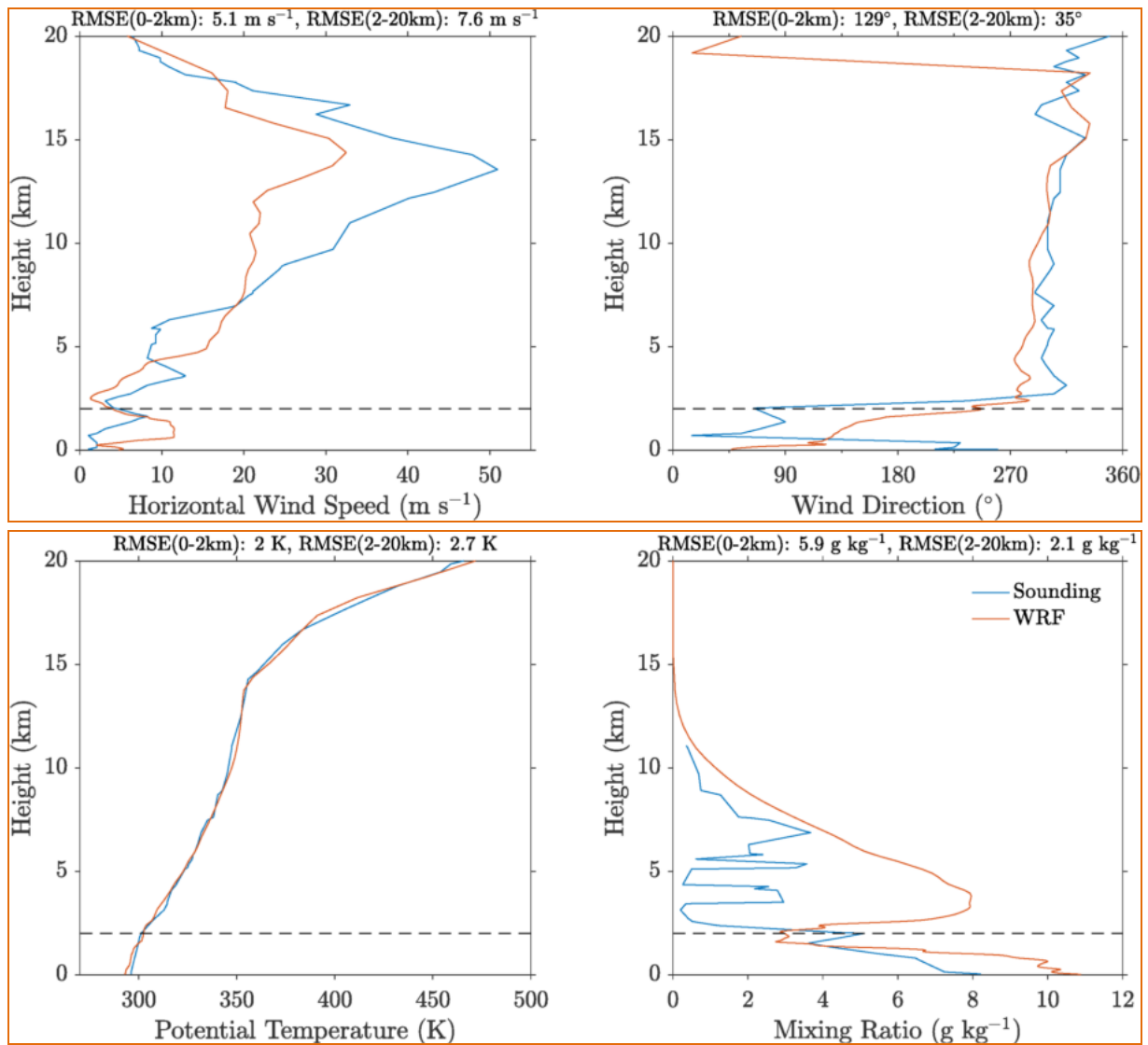
課題 D サブテーマ 2 : リアルタイムの火山灰ハザード評価手法の開発



2017年11月13日22:07の桜島南岳の爆発的噴火に引き続き発生したストロンボリ式噴火に伴う噴煙のレーダー反射強度。桜島火山観測所のレーダーによる観測



ドローンに搭載したCWSとドップラーライダーによる風向・風速の比較。左:風速、右:風向。シンボルは静止したドローンに搭載したCWSによる計測(キャンペーンごとにシンボルを変えてある)、横線はドップラーライダーによる計測平均値を示す。

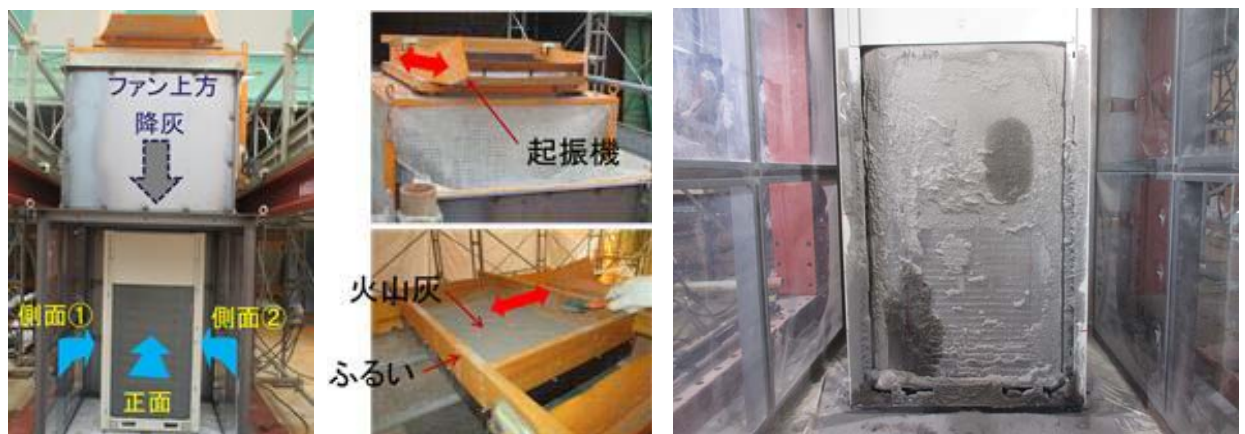


WRF により計算した風速、風向、気温、混合比のプロファイルと高層気象観測の比較。橙線は WRF による計算結果、水色線は高層気象観測。

課題 D サブテーマ 3 : 火山災害対策のための情報ツールの開発

位置		標準時間 (min)	結果時間 (min)	結果時間 (min)	標準時間 (min)	位置
↑ UP	山頂	30	69	49	15	山頂
	9.5合目	30	44	24	15	9.5合目
	9合目	40	60	29	15	9合目
	8合目	50	58	35	20	8合目
	元祖7合目	50	47	25	25	元祖7合目
	新7合目	60	74	49	25	新7合目
	6合目	20	26	17	10	6合目
	5合目					5合目

富士山チャレンジ 2017(動向把握実験)によって把握した富士宮ルートでの登山所要時間



降灰実験装置(左、中央)と降灰実験後における室外機への付着の様子



富士山周辺の防災担当者を対象とした火山防災に関する講習会の様子(左)と 2017年10月の新燃岳噴火によるヒアリングの様子(右)